

裁判員経験者との意見交換会

-第14回 宇都宮地方裁判所-



-第206号裁判員裁判用法廷-



令和6年2月1日(木)

に、宇都宮地方裁判所

で実際に裁判員裁判を

行っている法廷で、裁判員経験者

と法曹三者(裁判官・検察官・弁護

士)との間で意見交換会を行いま

した。その模様をご紹介します。

現役高校生14名が傍聴

令

和5年から18歳以上の方が裁判員に選任されることになりました。そこで、若い

方々にも裁判員制度を身近に感じ

てもらおうと、栃木県内の現役高

校生にも参加していただきました。

高校生の皆さんには、意見交換会

を傍聴してもらい、裁判員経験者や

法曹三者に質問をぶつけてもらい

ました。

まずは、裁判員経験者からの意

見をご紹介します

知識がなくとも十分わかる

知

識がない中での参加でしたが、裁判官から裁判の流れについて丁寧な説明を受け

ましたし、検察官や弁護士から示さ

れた資料は私たちでも十分わかるよう

に配慮されていたので、特に不自由す

ることなく最後まで裁判員を務めるこ

とができたと思います。

ほかの人の意見が勉強になる

緒に参加した裁判員の方が人

生経験が豊富な方が多くて、

色々な意見が評議の中で出た

ので、それを聞いているだけでもすごい

勉強になりました。

裁判の仕組みがわかる機会に

裁

判がどのように進められているのかわかりませんでしたし、事

件報道を見てもあまり関心を払ってき

ませんでした。参加してみても裁判の

流れ、仕組みを知る機会になりました

た。やってみて良かったと思います。



評議は思ったことが言えた

判官が発言していない方からも話を聞くようにしていただくので、全員が思ったことを言うことができた雰囲気でした。

裁

若い方々に対するメッセージをいただきました

参加すれば得られるものか

いある

周

りの理解や助力が必要な制度だと思えますが、参加すれば得られるものかという点については、是非参加してもらえるところでも良いと思います。もし、また選ばれるようなことがあれば、都合が合えばまたやってみようと思います。



挑戦してもらえれば自分の経験

になる

大

学生として参加しましたが、大学で専攻して学んでいることが参加した裁判に活かせる機会がありました。自身の経験がどこにつながってくるかわからないので、不安はあるかもしれませんが、臆せず挑戦してもらえれば自分の経験になると思います。



-裁判員経験者の方々-

悩まれたことについて語ってもら

いました

自分の意見の重みを感じた

刑

を決めるとき、自分の出した意見で被告人の刑が決まってしまうので、自分の意見の重みを感じました。検察官と弁護士との刑に対する主張の差があったので、評議の間はすごく考えました。

被告人からも少し話を聞いてお

けばよかった

評

議の中でお互いに話し合って結論を出す中で、被告人からも少し話を聞いておけばよかったと後から思うことがありました。

自分の判断が正しかったのか、裁

判が終わった後でも考える

自

分が考えた意見もほかの裁判員の考えを聞くとほかの考え

のほうが良いのではないかと思うことがありました。自分の判断が正しかったのか、裁判が終わった後でも考えることがあります。

高校生の皆さんから、裁判員経験者や法曹三者に質問をぶつけてもらいました



-県内の現役高校生-

Q 評議のときに意見の対立がありましたか

A (瀧岡裁判官)たとえば、刑を決めるという作業で、検察官や弁護士はお互いの立場で主張をします。どのように見るかについておのずと色々な意見が出てきます。裁判官と裁判員とで合意が得られるかどうかを確認しながら進めていきます。

Q 色々な事件を扱う中で、感情をコントロールするときに気を付けていることはありますか

A (石田弁護士)私たちの仕事は良くも悪くも第三者的なところがあるので、冷静に、深く感情移入しないようにしています。

A (石井検察官)接する機会があるのは被害者が多いということになります。悲しいとか怒りとかもちろん共感することはありますが、適

正な判断を得るために検察官としてやるべきことをやるということを意識しています。



-石田弘太郎弁護士(左)石井結香検察官(右)-



参加した高校生に感想をお聞きしました

是非参加してみたい。裁判のことももっと知りたい

意 見交換会を傍聴してみても、刑事裁判に興味を持ったので、もし機会があれば裁判

員裁判に是非参加してみたい。想像していた裁判とはだいぶ違って

たので、裁判員制度を通して裁判のことをもっと知りたいと感じました。

人の人生を決めてしまうものなので、できるのか不安

機 会があつたら参加してみたいと思う反面、人の人生を決めてしまうものなので、自

分でできるのか不安も残りました。

不安もあるが、選ばれたらやってみたい

裁 判傍聴をしていたときに集中するのが大変だったので、もし選ばれたら役目をこな

せるのか不安もありますが、意見交換会を聞いていて裁判員裁判にとても興味湧いたので、選ばれたらやってみたいと思いました。

意見交換会を終えて

(瀧岡裁判官)裁判員経験者の

方々、高校生の皆さんから、貴重な

ご意見や多数のご質問をいただきました。

私たちの社会で起きた事件

について行われる裁判に裁判員と

して参加することの意義を改めて

考える機会になりましたし、この営

みが次世代にしっかりと受け継がれ

ていくよう努めていきたいと思いま

した。今回の意見交換会が、若い方々にも興味や関心を持ってもらうことにも、裁判員として参加していただくに当たっての不安や戸惑いが少しでも和らげられる一助となれば幸いです。ありがとうございました。



—瀧岡俊文裁判官—

ご協力ありがとうございました

